

TCFDに沿った情報開示

カネカグループは「人と、技術の創造的融合により未来を切り拓く価値を共創し、地球環境とゆたかな暮らしに貢献します。」という企業理念のもと、製品・サービスを通じて気候変動問題に対して価値あるソリューションをグローバルに提供するとともに、製造

ガバナンス

ESG経営を統括・強化するため、2022年4月1日付で、ESG関連組織を再編し、副社長を本部長とするTask Force「Sustainability (SX) 本部」を新たに設けました。カーボンニュートラルに係る生産戦略は、その傘下にある「DX・CN Committee」がその推進を担います。

戦略

気候変動に関する事業上のリスクと機会を評価し、戦略・指標・目標を策定するために、2020年度にTCFD提言に沿った、2°Cシナリオと4°Cシナリオにおける事業影響シナリオの策定と影響度の分析を実施しました。

2021年度は、2020年10月の日本政府の2050年カーボンニュートラル宣言を受け、1.5°Cシナリオでの見直しを行いました。

カネカグループの事業に関係する社会環境について、

リスクマネジメント

省エネルギー、プロセス革新、燃料転換など脱炭素に向けた生産戦略は、国のエネルギー政策など事業環境を考慮して戦略を立案しています。また、インターナ

工程や物流工程で生じるさまざまな気候変動への影響に対し社会的責任を果たしていきます。そのような中、カネカは2021年3月に気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言への賛同を表明しました。

DX・CN Committeeは、モノづくり領域のDXとカーボンニュートラルを一体とした取り組みを加速させることでカーボンニュートラルを推進していきます。DX・CN Committeeでの活動は3か月に1回、経営へ報告され、今後の活動方針が審議・決定されます。

4つの事業領域を評価対象とし、気候変動による影響を短期(5年)、中期(10年)、長期(30年)で評価しました。引き続き、気候変動シナリオ分析(定量分析)を進め、気候変動に伴うリスク・機会の財務影響を把握していきます。

リスクへの取り組みを通じて、各事業の競争力を高め、新たな価値提供につなげます。

リスクを新たなチャンスに変えていきます。

ルカーボンプライシング制度を活用し、投資案件の環境価値と経済性の両立を図っていきます。

指標および目標

GHG排出量削減

カネカグループは2050年までにカーボンニュートラルを実現します。そのマイルストーンとして、2030年にGHG排出量30%削減(対2013年度比)を目標として設定しました。

2021年度のカネカグループのScope1とScope2のGHG排出量合計は、1,547.9千トンCO₂e(2013年度比100.2%)でした。

廃棄物の削減

カネカグループは産業廃棄物発生量の削減と再資源化を推進しています。カネカおよび国内グループ会社ではゼロエミッション^{※1}に取り組んでいます。2021年度は、カネカおよび国内グループ会社でゼロエミッションを達成しました。

また、カネカグループの再資源化率^{※2}は、2021年度目標を57%と設定し取り組みを進めてきました。2021年度の再資源化率は、56.3%となりました。

※1 最終埋立処分量を廃棄物発生量の0.5%未満にすること。

※2 産業廃棄物発生量のうち、外部再資源化量(外部委託量の内、再利用、再利用、熱回収により再資源化された産業廃棄物の総量)が占める割合。

気候変動リスク・機会の評価結果(1.5°Cシナリオ)

● 気候変動リスク ● 気候変動による機会 小 ● 大

気候変動リスク・機会		Material SU	Quality of Life SU	Health Care SU	Nutrition SU	影響時期
政策/法的	GHG排出規制の強化	●	●	●	●	長期
政策/法的	炭素税導入に伴う操業コスト増(サプライチェーン含)	●	●	●	●	長期
政策/法的	農畜産分野のGHG排出に関する規制				●	中~長期
技術	サーキュラーエコノミーの加速	●	●			長期
技術	原材料・エネルギー源の低炭素化	●	●	●	●	長期
市場	自動車産業構造の変化	●	●			中~長期
市場	バイオマス由来樹脂の需要増加と石化系樹脂の需要低下	●	●			長期
市場	農地・森林とバイオマス生産の競合	●			●	中~長期
市場	持続可能な農産物に対する競争の激化				●	長期
市場	新技術の増大による金属(リチウム、ニッケル、白金)価格への影響	●	●			長期
市場	気候変動対策の遅れに伴うステークホルダーの信頼失墜、ブランド力低下	●	●	●	●	中~長期
評判	人材獲得の困難化	●	●	●	●	長期
市場	再生可能エネルギー、エネルギーネットワーク、省エネ関連製品の需要増加	●	●			中~長期
慢性	感染症関連試薬・治療薬の需要増加			●		長期